



Newsletter No.69 2011.5.23

popokipeace@gmail.com
http://popoki.cruisejapan.com

Popoki's Hot News!



ポーポキ友情物語 on Stage!

6月5日 灘チャレンジというお祭りでステージやプース (灘区都賀川公園) ステージは13:50-14:10 の予定。 お待ちしています!!!! (詳しくは8ページへ)。



「一言の平和」コーナー

ポーポキのお友だちのかすみさんから届いた平和: 結膜炎になり寝苦しい夜。猫のソックスが一晩中そばに付いていてくれた。目が開かなくても、ソックスの毛皮に手を伸ばしたら、安心して再び眠りに入ることができる。私とソックス以外誰も知らない小さな平和。

あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか?

ぜひお聞かせください。ポーポキのメール popokipeace@gmail.com へ!



ポーポキ友情物語」プロジェクト on YouTube!!!

ポーポキ友情物語プロジェクトの最新作品をユーチューブでご覧になれます!ぜひ見てくださいね!

http://www.youtube.com/watch?v=otFb7_3S-Kk



Popoki Friendship Story Project/ポーポキ友情物語プロジェクト

あなたも周りの人と布をつくってみませんか?



ポーポキ友情物語プロジェクト。

大きなネコ、ポーポキ。 絵も友だちも大好き! この布の絵が私たちの「今」を語り、私たちをつなぎます。 あなたも絵でも描いて、ポーポキの友だちになりませんか?

Popoki Friendship Story Project, Popoki is a big cat, He likes pictures and friends
The pictures on this cloth describe us at this moment, and connect us,

Popoki's Friendship Story

ポーポキ・ヒース・フロジェクト Popoki Peace Project

詳しくはポーポキにメールへ。Information: popokipeace@gmail.com

Length/長さ: ≦5meters(つないでいく) We will connect the sections

Width/幅 45cm

* Hem the edges/縁かがり縫いをする

Fabric: cotton broadcloth/

素材:綿ブロード。

Color: Very light pink, or as you like

色:薄いピンク、又はお好きな色



出来上がった布をポーポキ・ピース・プロジェクト宛(657-8501 神戸市灘区六甲台町 2-1 神戸大学大学院国際協力研究科 ロニー・アレキサンダー方)へお送り下さい

Please send finished sections to: Popoki Peace Project, c/o Ronni Alexander, GSICS, Kobe University, Rokkodai, Nada-Ku, Kobe 657-8501 JAPAN

次のリンクで最近のプロジェクトを見ることができます。 View the most recent work of the project at: http://www.youtube.com/watch?v=otFb7_3S-Kk



ポーポキの被災地支援インタビュー その2

* 今回はポーポキがマコちゃん、ブンちゃん、ほとんど眠っていたみずほちゃん、さとこちゃん&ロニーをインタビューしました。みんな眠かった。場所は岩手県。5 月連休。

ポーポキ(以下「ぽ」):津波って何色?

マコ:黒

ブン:ねずみ色 ミズホ:灰色

ぽ:マコちゃんは前にも岩手県に来ていますよね、その時と違う?

マコ: 違う

ぽ:どんな違い?

マコ:何か、こう、疲れは溜まっているけれど、全体に前に進んでいる感じ・・・。

ぽ:津波は黒っていったけど、その当時は他のものもみんな黒だった? マコ:いろんなイメージが黒ですね。でも、今は色が出てきているみたい。

ぽ:ブンちゃんは被災地に来たのが初めてよね。印象は?

ブン: 来る前はテレビで見ていて、日本だけど遠い所のことになっていた。色々な物を探していますって言っていても、探しているんだなって見てたけど、こっちに来て、泣けるぐらい探しているんだと感じた。

ロニー: 釜石防災センター2階で毎日ボラナティア・ミーティングがあるでしょ。終わった後、建物の



中を見ていたけど、1階の掲示板に尋ね人の 人のパスポート写真とかが貼ってあるのを見 て、悲しかった。本当に探しているんだね、と。 ブン: 弓道場の避難所にも子どものパスポート の写しが貼ってあった。

ロニー: どんなひどい状況でも、慣れる自分って怖くて嫌。 慣れないとやっていけないけれど、今日の大槌で被害を見ていると、これでもか、これでもかって繰り返されると、津波に向かって「もうイイ!」って言いたくなった。

ぽ:さとこも岩手県は二回目ですね。何か変わった?

さとこ: 前回来た時には、雪が積もっていて寒くて、色がなかったのに、今回は季節が春になっていた。津波も自然の営みだったけれど、山や町に桜やたくさんの花を咲かせて、ウグイスが鳴いて、温かくなって、これも自然の営み、人間は自然界に間借りしていると感じた。前回よりも遙かに綺麗になっている町に関しては、町という空間がぺらぺらとした薄い空間に感じた。

ロニー:街がなくなると言うことをまじめに考えたことがなかった。街が無くなってしまったけれど、 人間は残いる。行政とか経済とかが機能しない。でも、何もかもなくなったところにローソンが数日 前にオープンしたよね。少しずつ、色々な物ができてくるんでしょうが、それって凄いことだよね。 芽生えてくる ぽ:阪神の震災のときも、コンビニができたときは嬉しかったよね。

マコ: 阪神の時は、すぐに手伝いに行きたいと思ったけれど、受け入れ病院に勤めていてので、とんでもないぐらい忙しかった。結局は行く事ができなかったので、実際には比べられない。映像しか知らないから。だから、今回はどうしても来たかった。

ぽ:マコちゃんは助産婦だよね。今回妊婦さんはいた?

マコ:妊婦さん・・・。一週間はいたけれど、早いうちに避難していて、余りいなかったね。

ぽ: 今回は原発の話は聞かないけど、最初の頃はあった?

マコ: そういえば聞かない。情報がなかったかも。それと、今は東京の人の方が敏感かも。 ロニー: 神戸では結構気にしているのにね。宮城県に行ったときも原発の話は無かった。

ぽ:ブンちゃんは、どうして今回来たの?

ブン:もっと早く来たかったけれど、休みが取れなかった。でも、できるから行くは普通のこと。どうにかして行くがボランティアかなと思うね。やれることをやるのは当たり前だと思うので、大阪でボランティアに行かなきゃと思い詰めてパニックになる理由がわからない。自分の身の周りから固めるとできる。でも、できることからって、何が出来ることか・・・。

ぽ: 今は連休でボランティアは溢れるぐらい来ているよね。それってどう見える?ご立派だとか、お祭り騒ぎだとか、みんなが「ボランティアルック」の服を着てやってくる・・・。いろんな解釈はあると思うけど。



ブン:うんん、難しい。時間があるから行く事は、どうにかして行こうとすることとは違う気がする

ぽ:被災者の方々に、目に見えるものもそうかもしれないが、目に見えないものをたくさん戴いていると思うけれど、その中で一番今後の人生のために大切にしたいものって何?

ミズホ: 自分も被災しているのに、他の被災者に対してボランティアができるのが凄いと思うし、自分もそうありたい。笑顔もそう。

ブン: 人間はどんな困難に遭っても前を向けるし立ち上がれる。今は見せかけかもしれなくても、明るく話してくれる、どこかで区切りを付けたのか前に進もうとする強さを感じる。たとえ途中で折れたり、後ろを向くことがあったとしても。

マコ: 人の強さを感じて、一人ぼっちになった人もいると思うけれど、一人ではなく、人と人との繋がりが必ずある人ってつながっているってことを知って欲しい。逆に元気づけられたが、私も人とつながっている。頑張っているから自分も頑張ろうと思える。それを感じるし、季節が春になって変わっているのを感じて、時も流れて自然に前に行く、時がある。人が癒されるには時間がかかるし、でも少しずつでも前に進むと信じられる。

さとこ: 自分が強くなければ(体力的にも、精神的にも余裕がなければ)人に優しくすることはできないと思っていたけれど、人の優しさが、強さを支えるのかもしれないと思った。

ロニー: 子どもたちを見て感銘を受けている。 大きな子が小さな子を気遣っている。確かに 数日しか見ていないが、ケンカしている子ど もはどこもいない。子どもも自分のことで手一 杯なのに、小さい子の面倒を見ている。そう いう優しさとか繋がり・・・。大きくなっても残っ て欲しい。見ていて思ったことは、自分の中 にある優しさを確認して、伸ばし、そして大切 にしたい。大人でも、こんな混乱の中で私た ちをやさしく迎えてくれる。これだけ色々な人 が次々に来ても、うんざりせずに受け入れて くれる。自分もそうなりたい。それと、子ども が一人だけでもいると、周りは明るい。子ども って凄い。



マコ:子どもは宝。みんなが明るくなる。



「ポーポキ、平和って、なに色?ポーポキのピース・スック1」より

『第11回 中日本地区 YMCA グローバル教育研修会』に参加して 滋賀 YMCA 古賀琢士(かるびリーダー)



私は一市民です。と同時に私は日本人です。また、 私は地球に住む者、地球 人です。私の友だち、知ら ない人、動物、みんなみん な地球人です。

このたびの2月26日~27日に六甲山 YMCAで行われた『第11回中日本地区 YMCA グローバル教育研修会』に参加させていただきました。今回のテーマは『平和をつくりだすこと~知ろう・考えよう・伝えよう~』ということでしたが、私自身、平和に関しての

知識や考えといったものは人並み、もしくはそれ以下だったと思います。そんな私ですが、今回参加させていただいた中で、平和というものへの考えというものはとても深くなりました。

この2日間の中で自分の中に深く印象に残っている言葉があります。講師のロニ―アレキサンダー氏がおっしゃっていた「まず知ることが大事」という言葉です。これを聞いたときに、私は平和というものを考えるにあたって、知っていることが大変少ないと感じました。やはりその知るということ

で、より平和への自分の考えが深まり、その中で自分なりのやり方、また周りへ発信ということにつながっていくと思うので、まずは知ることがとても大事なことだと思いました。

そしてもう一つは、ロニ―氏のワークショップで行ったポーポキの絵本にある『平和ってなにいろ?』です。"平和"というものを色に表すということ、それは"平和"というものを考え、学びを深める、知る、ということの一歩を踏み出すきっかけになる言葉だと感じました。私自身も深く平和



については知識も何もありませんが、このことに関して、何の知識もない私でも深く語り合い、自分の考えをさらけ出すことができました。そしてまた、2日間を通じて自分の中の"平和の色"はどんどんと変わっていき、より知り、深めていくことでどんどんと変化していくものであることを実感しました。

人には、それぞれの"平和の色"があり、それを共有し、理解することが平和へとつながっていく とも感じます。

ロニ―氏の話や、この地で出会った仲間たちとのワークショップを通じて、学びを深めることで、 自分なりの平和というもののビジョンが見えてきました。滋賀に待つ仲間たちにも、"平和の色"を 考えることで、きっかけを持ち、『知ること』をどんどん伝え、自分からいろいろな発信をしていきた いと思います。





ポーポキの友だちの一人、吉田香織さん。

彼女は、「平和を感じる」ということについて文章を書くと 気持ちがとても非平和になるそうです。彼女にとっての「平和」は、お昼寝の気分でもハッグの気分でもなく、下記のことです。

戦争の反対は平和である。幼い頃は疑うこともなくその言葉を信じていた。しかし、今はそうは思わない。平和とは、戦争さえ起こっていなければ成立する恒常的なものではなく、社会を構成する各人の常なる努力によって作り上げていくものなのだと思う。

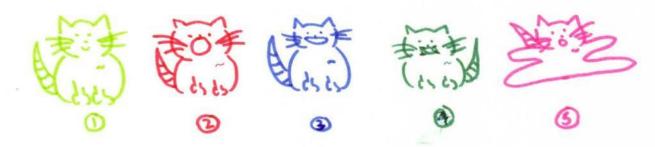
今の日本は本当に平和と言えるだろうか。自殺者の数を見ても8年連続3万人超。もっと一人一人がそれぞれの孤独を見つめ合い、支え合うこと。話を聞いてあげる、聞いてもらうだけでもいい。こういったことも平和への努力と呼べるのではないだろうか。



ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 36

今月のポガのテーマは顔と口のストレッチです!少しでも楽になるといい!



- 1. いつものように、背筋を伸ばし、自分を細く見せながらちゃんと座りましょう。
- 2. さて、口を大きく開いて「ああああああ!」
- 3. 今度は、大きく笑って「にいいいい・・・」。
- 4. そして、唇を前へ動かしてキッス!「ちゅうううううう・・」
- できた!できた!できたポーズをどうぞ!

第36回目のポガ・レッスンはこれで終わります。少しリラックスできましたか?毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。



次回のポー会 2011.6.22(水) 神戸 YMCA 306 19:00~

- 6.4 ポーポキ友情物語 in 新潟!?!
- 6.5 灘チャレンジ!お祭りでポーポキは模擬店と『ポーポキ友情物語 on Stage』 スタッフ募集中。10:00-16:00 都賀川公園 ステージは13:50-14:10 の予定。
- 6.11 大阪市西成区子どもの里で読み聞かせプログラム 10:30-12:00
- 7.24 とさぼり YMCA サマーセミナー2011 10:30-12:30 ワークショップ
- 9月9日—16日 ポーポキ in グアム!?! (予定)
- 9月17日-20日 ポーポキ in 被災地 (予定)
- 9月~10月 「Remembering Hiroshima Imagining Peace 2011」参加(米国・日本メディア!?!で交流)
- 11.12 「ピース&ヘルス・マップ」ポートアイランド・下見などの準備と実施

夏~秋 ポーポキの被災地支援プログラムも検討中!!!!

ボーボキャンディア

ポーポキ通信のバックナンバー: http://popoki.cruisejapan.com/archives.html

- R. Alexander. (2010) "The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- ・ 「省窓」『神戸青年』 No.606 2011.1.2 p.1
- No.1「『ポーポキ、平和って、なに色?』の背後にあるもの」(連載) とさぼりライフ第 19 号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ:こくさいのまで⑮(パレスチナについて)『神戸青年』No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる!」 THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界: 被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602 ja
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 'Heart Lines' 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- "Human Rights, Popoki and Bare Life." *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46–63 (http://www.infactispax.org/journal/)
- ・ 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なに色?ロニー・アレキサンダーを迎えて」 『PPSEAWA』(日本汎太平洋東南アジア婦人協会) No.63 2009.12, p.5.
- · 「友情」第2号 2009.11 伊丹市国際·平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- ・ 「ともに・・・」 No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャンレジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」 2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 「『ポーポキ、友情って、なに色?』」「私のいち押し」 奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関西外大通信)
- ・ 「友情って…考える絵本」 朝日新聞 「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて[~]人間と、ねこと、そして自分と~」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- ・ 「カティング・エッジ」 第 35 号 2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」) 「新刊紹介: 『ポーポキ、友情って、なに色? ポーポキのピース・ブック 2」(レベッカ・ジェニスン) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第2弾を出版」(斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなに色?」 KOBE YMCA NEWS 「神戸青年」 2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなに色?」 KOBE YMCA NEWS 「神戸青年」 2009.1.1 No. 592 p.2.
- 「友だちになってくれませんか?」RST/ALN 2009.2.22
- ・ ラジオ番組の中のポーポキ!!!プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 http://www.kizzna.fm/ 録音番組をクリック。番組 CH の6CH をクリック。
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会 『世界人権宣言』 ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500 円。 詳しくは: blrhyg@osk3.3web.ne.jp
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」 エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
- 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは?」 Kumamoto YMCA News 10 Vol.437 October 2008, p.1
- ・ 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全30条 イラストで表現 地元ゆかり 6名がパネル制 作」2008.10.8.10 面
- 「社説 終戦の日」神戸新聞 2008.8.15
- ・ 中国新聞「核廃絶への視点」 2008. 7. 27 (核抑止論について・・・。 3時間!?!にわたる取材で一生懸命にポーポキのことを話したのに・・・。)

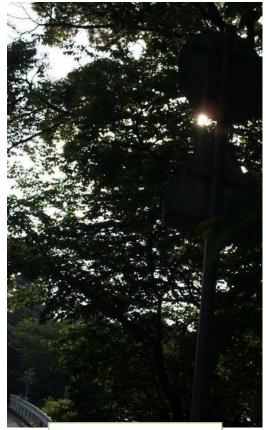


私にとってのホーホキ



西山つかさ





大好きな5月の輝き

私は日本の5月が大好きです。4月にはまだ眠気まなこをしている自然の世界が、5月になるととても情熱的に生き始めるからです。例えば、桜の花も美しいですが、それが散った後の5月の色鮮やかな木々の緑は、まるで人間の青年時代のように、太陽の光の中でキラキラしています。私にとってのポーポキも、平和や友情のためにできることはなんでもしようとする、5月の自然のような情熱を持つ友だちです。

私は、家族や友達に、サプライズのプレゼントをしたり、サプライズのお祝いをしたりすることが大好き。皆が喜ぶ顔や、声を立てて笑う顔を思い浮かべながら、私は計画を一生懸命考えます。準備をしている時のワクワクした気持ちや、うまくいくかな?と心配する気持ち、実際に喜んでもらえた時の気持ちが、なんだかポーポキのカラフルなしっぽに似ていると思います。情熱をこめて、平和や友情を表現しようと考える時、ポーポキが一緒になって、考えてくれているのかもしれません。

新緑の5月のように、情熱的に色んな気持ちを経験して、ポーポキともっともっと仲良くなっていきたいです。



友達へのサプライズパーティ



ダンスチームへの手作りプレゼント

さらにご協力ください!





ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色?ポーポキのピース・ブック1』(エピック、2007年)、『ポーポキ、友情って、なに色?ポーポキのピース・ブック2』(エピック、2009年)を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。2006年に設立されて以来、日本国内

外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳(『ピース・ブック1』は既に10ヵ国語に翻訳されている)、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動を続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なさりたい方はぜひご参加ください。(ポー会の開催については、ポーポキ通信の「ご一緒にどうぞ」の蘭をご参照されたい。)

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いいたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.comへお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック (TEL: 078-241-7561·FAX: 078-241-1918) へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト popokipeace(at)gmail.com



http://popoki.cruisejapan.com

郵便振替口座番号 00920-4-280350 ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350 口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。

